

～検査のことはじめから検査と健康展へ～

鹿児島県臨床検査技師会 会長 有村 義輝

鹿児島市医師会の先生方におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。また、日頃から鹿児島県臨床検査技師会の運営に際しまして、心温かいご理解とご支援を賜り心から感謝申し上げます。

今回は、「検査のことはじめから検査と健康展」について掲載いたします。

具合が悪くなって病院に行った時、お医者さんは正しい診断をするために、患者さんの体の状態を知らねばなりません。採血・尿検査・心電図・エコー検査など体が発する様々な情報を確認し、その結果に基づいて診断が行われ、治療に結びついています。

医学の検査の源流「ことはじめ」は紀元前4世紀のギリシャ“医学の父・ヒポクラテス”。それまで呪術や魔術でやっていた医療を廃して、病状の観察・触診・聴診によって病気を分類した彼は、尿の沈殿物を血液や粘液・胆汁などの廃棄物として観察していました。18世紀に入り、その流れは飛躍的に発展しますが、鎖国中の日本は大きな遅れを取ります。日本では、明治時代の疫病（コレラ・赤痢など）の流行が、細菌などの検査の需要を高めます。

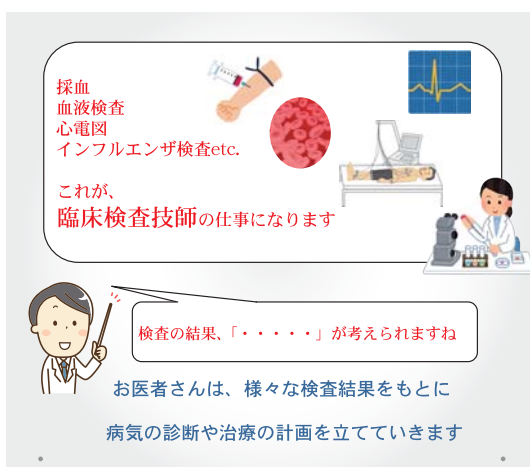
検査は、以前は問診・医師の身体診察（視診・触診・打診・聴診）の補助的役割でしたが、近年では医療技術の進歩により、人間の感知能力を超えた生体情報が得られるようになり、自覚症状のない生活習慣病などでは臨床検査のみが診断の鍵になることが少なくなく、早期診断・治療には不可欠になっています。

そして、総合健康診断（健診）の歴史は新選組もやっていたとありますが、近代的な仕組みは結核の撲滅がスタートです。健診車もこのレントゲン車が始まりです。健診は、た

くさんの検査法の中から安全で精度が高く、時間的・経済的にも有利な方法を選び上手く組み合わせ、能率的に全身の健康状態をチェック出来るものになっています。健診が、健康であるかどうかを調べるのに対し、特定の疾患を早期に発見・治療を目的にしたものが検診（集団検診）です。がん検診がこれにあたります。

～日本臨床衛生検査技師会発行“検査のはなし”より抜粋～

・・・検査のことはじめ・・・



・・・検査と健康展について・・・

さて、国民の皆様方の生活習慣病やガンの早期発見のために、定期的な健康診断の重要性を啓発するとともに、臨床検査についての理解を深めていただくために、日本臨床衛生検査技師会でも毎年11月を臨床検査と健康・普及啓発月間と位置づけ、全国47都道府県で検査と健康展を開催しております。

今年、鹿児島県臨床検査技師会（鹿臨技）は、令和元年10月27日(日)にかごしま県民交流センターにて開催いたします。

鹿臨技では今年で第6回目を迎え、毎年多くの県民の皆様方に参加して頂いており今年度も、臨床検査技師への職業的関心、科学的関心、医学的関心などをもっていただき、実際に各検査をしてもらい、健康づくりや生活

習慣病の早期発見の為に、定期的な健康診断が重要であることを啓発することを目的とする公益事業として開催いたします。

テーマは「来て・見て・測って・健康チェック！」です。また、目玉として、「いまこども、むかしこども！～誰でも色々体験できる検査体験コーナー～」を設けておりますので、是非、多数のご参加のほどよろしくお願いいたします。

結びに、鹿臨技といたしましては、鹿児島市医師会の先生方の診療支援チームの医療職の一員として、しっかりと職責を果たせる臨床検査技師育成の土台となり牽引となるような活動を行う所存であります。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

鹿児島県臨床検査技師会～検査と健康展～

inかごしま県民交流センター2019.10.27

テーマ：来て・見て・測って・健康チェック！

年に1度は健診を受けましょう！



<開催内容>

開催期日：令和元年10月27日(日)

開催時間：午前10時～午後3時

開催場所：かごしま県民交流センター
大ホール（西棟2階）

参加対象：鹿児島県民

開催内容：全国検査と健康展

- 1) 健康チェック：簡易血糖・認知症検査・
頸部エコー
肺年齢・体脂肪・骨粗鬆の各測定
- 2) 健康相談：臨床専門医による健康相談

- 3) 検査ポスター・パネルの展示及び顕微鏡の世界
- 4) リーフレット・パンフレット等の配布
- 5) いまこども、むかしこども！
～誰でも色々体験できる検査体験コーナー～
- 6) 医師による健康相談
- 7) 臨床検査技師による検査結果説明

全ての検査、無料で実施いたします！